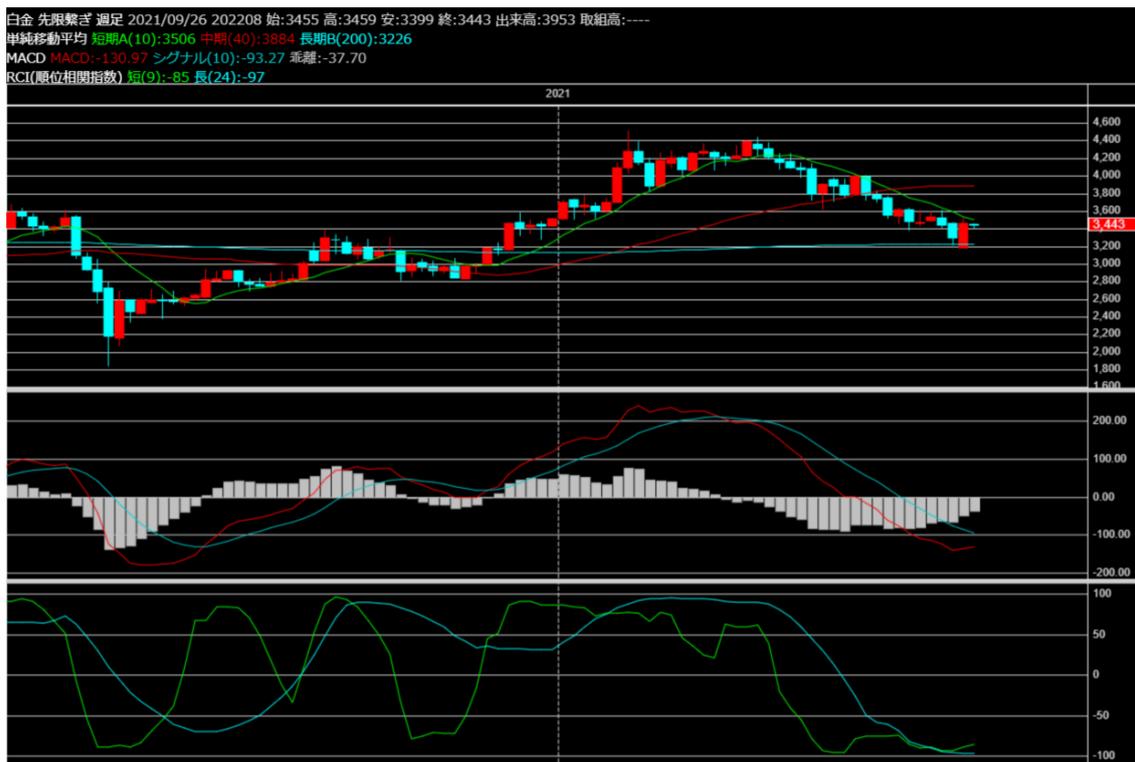


<白金標準先物、大勢感は5月からの下落基調の終焉・・・>



(出所：オアシス)

現在の白金標準先物の価格低迷の要因は、東南アジアで新型コロナ感染拡大＝マレーシアのロックダウン＝自動車部品製造停止＝自動車半導体不足＝発注から納品までのリードタイムが通常の11週間が21週間へ＝トヨタ年間生産台数930万台から900万台へ目標削減＝PGM需要後退懸念＝PGM価格低迷の流れに、先週は中国恒大集団のデフォルト・リスクを嫌ったリスク逃避で昨年11月以来の3185円まで下落している。

しかし中国恒大集団のデフォルト・リスクは、特別条項でデフォルト認定まで30日間の猶予期間が設定されており、行き過ぎたデフォルト・リスクの織り込みは突発的な買い戻しの動きに結びつき、3日間で343円の反発を見せている。

特に週足で見た白金標準先物では、5月の高値4447円から下落を始めたが、先週で1262円の下落幅となり、28%の下落率に達するなど行き過ぎた値動きに思える。

(2021年9月26日記載)

<テクニカル>

白金標準先物の週足をMACDとRCIで見た場合は、MACDが下げ止まり、シグナルは下げるなど乖離幅が縮小している。RCIでは短期と長期がクロスを行い、短期が長期を上回るなど基調の転換を示しており、5月からの下落基調が終わる予兆を見せている。

<データ>

NYMEX 指定倉庫在庫 (トロイオンス) : 530859 (前週比-1263)

世界プラチナ ETF 残高 (トン) : 71.89 (前週比±0)